

令和8年1月20日
総長選考・監察会議

望まれる総長像について

京都大学は、その基本理念（平成13年12月4日京都大学評議会制定）のもと、今後さらに、世界をリードする高等教育研究機関としての地位を確立していかなければなりません。大学の運営環境が厳しさを増す中、本学がその使命を果たすためには、国際卓越研究大学の認定を受け、本学が自ら掲げた研究等体制強化計画の実現を図ることが極めて重要な課題となっています。そのために、新たに選出される京都大学総長は、以下のような資質、能力並びに意志を備えていることが望まれます。

第一に、京都大学の誇りある歴史とそれを創り出してきた先人の努力に敬意を払いつつ、京都大学の基本理念の実現に立脚した将来に向けての明快なビジョンと戦略を打ち出し、それを実行する強い意志と能力を有すること。

第二に、人格が高潔で、学識に優れ、国際的な視野を有し、大学における教育研究活動を適切かつ効果的に運営することができる能力を有するとともに、学内外の人々の信頼を得ることのできるトップリーダーとして、京都大学の未来を切り拓く改革を推進し、多様かつ調和のとれた活力ある教育研究活動の場を実現できること。

第三に、国内外の多様な教育研究分野の現状を理解し、それらの分野の将来への展望を持つとともに、大学の財政基盤の確立と組織内の適切な資源配分を実現できる、優れた総合的マネジメント能力を有していること。

第四に、企画、実行、対人関係構築などの力量を備え広く社会の状況を把握し、多様な人々との信頼関係を築くことによって、迅速かつ的確な使命達成を可能とするネットワークを国内外に形成できること。

第五に、国際卓越研究大学研究等体制強化計画の達成に尽力し、困難を排して大学運営の大胆な変革を実現する強い意志と実行力を有していること。